

第8回認知神経心理学研究会開催にあたって

第8回認知神経心理学研究会開催にあたり、ごあいさつ申し上げます。

8回目を迎えます本年の研究会は、「この分野の研究に関する議論を十分に行う場を提供する」という本研究会の基本方針を念頭に企画させていただきました。

丹沢山系のふもと、近くは大山を望む厚木の地で、十分な時間をとっての講演と、静かな佇まいの温泉情緒あふれる老舗の宿で、認知神経心理学に関する議論をゆつくり、じっくり、展開できる様、「合宿型」での開催としました。

また、本研究会では、短時間報告を中心としたショートトークを設け、気軽に発表できる雰囲気作りを目指しました。さらに、発表をしない参加者の議論への積極的な参加をサポートするため、自己紹介、研究歴、自分の考えなどを他の参加者へアピールすることができるポジションペーパーを作成する試みを実施しました。

本年のスペシャルセッションは、辰巳格先生(LD・Dyslexiaセンター)のとりまとめにより、「ことばの生成プロセスとその障害」というタイトルで、この分野でご活躍の、伊藤友彦先生(東京学芸大学)、前川喜久夫先生(国立国語研究所)、本多清志先生(ATR 人間情報科学研究所)をお招きしての、たいへん興味深いスペシャルセッションになっております。

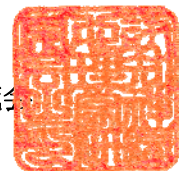
皆様のご協力のおかげで、多くの発表者、参加者をお迎えできたことを、心より感謝いたしますとともに、世話人としてはとりあえず安堵しているところです。

初めての試みもあり不安な面もございますが、参加者の皆様にご満足いただき、来年度以降も継続的に参加したくなる、そんな研究会となるように願っております。

あらためて、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

平成17年8月5日

第8回認知神経心理学研究会
世話人 近藤 公久



〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1
NTT コミュニケーション科学基礎研究所
人間情報研究部